

上田卸団地だより

編集・発行 上田卸商業協同組合 〒386-0041 長野県上田市問屋町510-2 TEL 0268-22-6649 (代) FAX 0268-22-6714
URL : <https://www.ueda-oroshi.or.jp/> E-mail : info@ueda-oroshi.or.jp

第61回通常総会を開催

本年は組合創立60周年を迎える年となることから、総会・懇親会の会場も、例年の上田あきんどホールから上田東急REIホテルに移しての記念開催となりました。

総会後の懇親会には、ご来賓10機関・団体に加え、組合役職員のOBの皆様にもご出席いただきました。

第61回通常総会は、5月21日(火)・午後4時より、組合員32名(うち、委任状11名含)が出席。今回の通常総会では以下の全7議案が審議され、いずれも承認・可決されました。



理事長挨拶

◆第1号議案
令和5年度事業報告
承認の件

概要は、2ページ「第61回通常総会挨拶」参照。

◆第2号議案
令和5年度決算承認
並びに利益剰余金
処分の件

原案どおり、承認・可決
されました。

◆第3号議案
令和6年度事業計画
承認の件

次の重点施策2項目等
について、承認・可決され
ました。

1. 組合活性化に向けた
諸事業・行事の積極的
な推進。
2. 「上田卸団地再整備」
に係る調査・検討活動

◆第4号議案
令和6年度収支予算
承認の件

概ね、令和5年度実績程
度の予算にて承認・可決。

◆第5号議案
令和6年度賦課金の
額及び徴収方法決定
に関する件

1 社月額2,000円
(年額24,000円)・
6月と10月の徴収にて決定。

◆第6号議案
借入金の最高限度額
並びに一組合員に対
する貸付の最高限度
額決定に関する件

非常時を想定して、借
入金の枠を設定するもの
で、最高限度額1億円・一
組合員への貸付限度額
1,000万円と決定。

◆第7号議案
理事及び監事の報酬
限度額に関する件

原案どおり、承認・可
決。

を継続するための機
関を設置し、再整備事
業の実現に向けた取
り組みの実施。

なお、総会のご来賓は長野県上田地域振興局・上田市の上田商工会議所・商工中金長野支店・八十二銀行上田支店・上田信用金庫本店営業店・長野県中小企業団体中央会東信事務所・秋和自治会・桝網土地改良区・小宮山智三税理士事務所の皆様でした。



総会後の記念撮影

第61回通常総会挨拶



理事長 桑原 茂実

はじめに

皆様、こんにちは。当組合理事長の上田冷蔵(株)・桑原茂実と申します。本日は大変ご多用のなかを、土屋上田市長をはじめ、多くのご来賓の皆様、組合員の皆様のご光栄を頂き誠にありがとうございます。そして、第61回通常総会が開催されますことを大変嬉しく思います。

前年度の事業概要

総会議案であります令和5年度の事業報告について、概要を申し上げます。資料の中でも報告されておりますが、新型コロナウイルス感染症が昨年5月に第5類へと移行。業績のV字回復も期待されましたが、ご周知のとおり、厳しい経営環境のなか、事業収入の柱のひとつであります会館利用収入は、伸び悩みました。市内では、会合等の会場探しに四苦八苦しています。施設・設備の経年化による修繕費負担増。また、諸物価高騰のなか、この4月から会館施設利用料金改定をさせて頂きました。今後は、当会館施設

創立60周年

さて、例年ですと総会会場はホームグラウンドの秋和「組合会館・上田あきんどホール」で開催しているのですが、本年は創立60周年の記念の年です。変更させて頂きました。組合の沿革・歴史につきましては、後

の利点PRにも努めてまいります。コロナ禍の空白の4年間は大きく、問屋町会・十日会などを利用しての研修会が開催されていません。同敷地内組合の強みを生かして、再開して行きたいと思えます。また、工事は前年度に完了してありますが、県の中小企業エネルギーコスト削減事業を活用して、上田あきんどホール内の照明機器のLED化を行いました。これに係る助成金が補助金収入として計上されています。

運営費用は緊縮化に努めて、なんとか利益を出すことができました。

令和6年度計画

令和6年度計画は、前述した研修事業等に加え、「卸商業団地機能向上支援事業」を活用して策定した「上田卸団地再整備」の事業化に向けた活動に着手したいと思えます。

より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

冒頭の挨拶といたしまして、

あきんど市

10月21日には、4年ぶりに『第12回あきんど市』を開催し、多くの地域住民の皆様にお出で頂き、また、初めて出店された地元秋和営農組合から、名産『秋和米』を出品・販売してもらいました。出店者が「久しぶりの開催で来客者が少ない」と予想したのか、早い時間から売り切れの店舗が相次ぎました。やはり卸団地のイベントには生鮮食品が必要なのかな?と思えました。



高さ34mm、錫100%の福だるま。創立60周年懇親会の記念品。富山県・高岡市の伝統産業である「铸件」の技術により製造していただきました。

組合創立60周年記念懇親会挨拶

理事長 桑原 茂実

はじめに

ご紹介頂きました、理事長の桑原茂実です。ここからご出席の方々もいらっしゃると思いますので、改めて、本日は時節柄ご多用のなかご臨席賜り、誠にありがとうございます。

組合のあゆみ

さて、本日も配りさせて頂きましたプログラム、「60年のあゆみ」をご覧頂きたいと思えます。最初の欄に、昭和39年9月設立とございます。先の東京オリンピックの前の月です。いまでも続いています上田商工会議所卸売研究会で、進行するモータリゼーション対応のために、市街地で営業していた企業の要望から、卸団地設立の機運が高まっていったと聞いております。

さて、本年の通常総会・懇親会は、創立60周年を記念して、上田あきんどホールより会場を移して、ここ上田東急REIホテルで行うことといたしました。そして『感謝』の意味を込めまして、ご来賓の方々、組合員、賛助会員の皆様に加えて、これまで、組合運営に携わって頂きました前理事長、前副理事長、歴代事務局長の皆様にお越し頂いております。この方々のご尽力、ご指導なくして本日は迎えられなかったと感じております。ありがとうございます。開会前に、10年前の創立50周年を記念

さて、本日は、よろしくお願

いたします。

(令和6年5月21日・通常総会理事長挨拶より)

第一作成に始まり、昭和47年には河岸段丘の下に、秋和の皆様所有の田んぼを「上田市商業発展のためなら」と提供して頂きました。私が高校時代、秋和鉱泉までクラ

ブ活動のランニングで通りかかった折に、夕暮れのなかを建設重機が動いていた記憶があります。私は昭和55年に家業に入社しましたが、昭和62年4月、卸団地から上田駅まで直通の秋和上堀線開通式で、生卵10個入れ1,000パックを青年部一員として市民に配布したところ、あつという間に終わってしまったことを鮮明に覚えています。また、平成6年創立30周年記念事業におきまして、物販部長として魚商、青果、生花など各小売商組合のご了承、ご理解を頂くため説明会を開き、初めて問屋業が直接、地域住民の皆様(消費者)を対象に『卸団地まつり』を開催しました。組合敷地内に、岩野商会さんをお願いしてテント80張りを設置、多くのご来場を頂きました。

苦難の時期

それからは、良い事ばかり続きません。よく言われる「失われた30年」の始まりでした。組合員の

倒産、廃業、吸収なども相次ぎ、事業を縮小せざるを得ない状態にも陥ったこともありました。そのたびに頻繁に開かれた理事会において、対処方法の議論で大変であったと、今は亡き父よりよく聞きました。しかし、本日このように皆様とお祝いできること、大変嬉しく思います。

温故知新

今日は、上田商工会議所より矢ヶ崎専務がお見えですが、今年7月3日から新札1万円に登場する、『日本資本主義の父』と言われる渋沢栄一翁はかつて若い頃、深谷より藍玉の行商に来ていて、再度大正時代に来田し、『温故知新』という言葉を残して頂きました。今でも県内で最初の会議所として、上田商工会議所の行動指針として、大切に額は保管されています。「昔の事をたずね求めて、そのなかから新しい知識、見解を導く事」、本祝賀会がそのようになれば幸いです。

結びに、ご来賓各位のご健勝、組合員、賛助会員、そしてご出席の皆様のご隆盛、ご健勝を祈念申し上げ、これからも、上田卸商業協同組合に對しまして変わらぬご支援をお願い申し上げます。本日は、誠にありがとうございました。 (令和6年5月21日・懇親会理事長挨拶より)



田中副理事長よりご来賓への謝辞。



OBの皆様との歓談の場に

上田卸商業協同組合 60年のあゆみ

昭和39年9月	組合設立・上田商工会議所に事務所を置き、スタート。
昭和41年	団地造成規模9,583坪で建設を始める。
昭和41年10月	地区の呼称を「上田問屋町」と定め、公表。
昭和43年4月	組合事務所を問屋町へ、新築移転。
昭和44年6月	第1次団地造成祝賀会を挙げる。
昭和44年	組合として、秋和自治会へ加入。
昭和47年5月	第2次拡張計画の用地約3万坪確保。
昭和47年7月	第1回市民祭(上田わっしょい)へ「おどり連」で参加。
昭和47年12月	第2次計画の店舗集団化計画を県に提出。
昭和48年	第2次計画が完了し、組合員48社となる。
昭和48年7月	「上田わっしょい」へ、みこし2基を加え、約300名参加。
昭和50年9月	呼称を「上田卸団地」と改め、シンボルマークを制定。完成時の状況 組合員:45社 出資金:1,965万円 予算規模:2億6,150万円 (うち金融関係9,500万円)
昭和51年9月	第1回上田卸団地大運動会を開催。1,100名参加。
昭和54年5月	卸団地青年部発足。
昭和54年	卸団地内の道路を一括して上田市へ寄付採納し、私道へ編入される。
昭和59年11月	組合創立20周年記念式典を挙げる。
昭和62年4月	秋和上堀線道路が開通し供用開始となり、上田駅まで直結。
昭和63年6月	県下卸団地による「長野県卸商業団地健康保険組合」発足。
平成2年1月	組合創立25周年記念式典を挙げる。
平成2年11月	県下5団地による「長野県卸商業団地厚生年金基金」発足。
平成6年10月	組合創立30周年記念式典・祝賀会を挙げる。記念誌「上田卸商業協同組合 30年の歩み」発刊。
平成10年5月	第1回卸団地開放セール開催 参加 24社 来場者 4,500人。
平成11年5月	金融事業を平成18年3月に終了することを、総会で決議。
平成23年12月	機関紙「上田卸団地だより」創刊。
平成25年10月	「上田卸団地まちづくり協定」制定。
平成26年10月	組合創立50周年記念式典を挙げる。記念誌「50年のあゆみ」明日へのはばたき」発刊。
令和4年2月	商団連「卸商業団地機能向上支援事業」による「上田卸団地再整備計画」を策定。

事業報告

第48回上田卸団地ゴルフコンペ

5月19日(日) 小諸高原ゴルフクラブ 16名参加

- 個人戦 優勝 田邊 寛樹 (田辺商事(株))
 準優勝 太田 拓志 (株デンセン)
 3位 大島 幸治 (株丸水長野県水)
- 団体戦 優勝 混成チーム
 田邊 寛樹・五十嵐弘樹・
 田中 結樹・松本 良治
 準優勝 SPG
 田中 良男・岡森 友明・
 園田 修治・五十嵐康弘



上田卸団地ボウリング大会

6月14日(金) プラチナレーンズ上田店 32名参加



コロナ禍で見送られていたボウリング大会。5年ぶりの開催となりました。

- 優勝 高見 晃平 (株デンセン)
 準優勝 酒井 俊輔 (株デンセン)
 第3位 荒井こずえ (株丸水長野県水)・女子の部優勝

団地内一斉清掃

6月11日(火) 53名参加

年2回実施の団地内清掃、今回は「夏の一斉清掃」。多数のご参加、ありがとうございました。



「初期消火訓練」を実施します。

- ◇ 8月30日(金) ・午後5時より
 - ◇ 第1駐車場にて〔組合会館裏〕
- 詳細につきましては、別途、お知らせします。



組合員の異動

- 賛助会員の加入
 (有)小林青果店 令和6年4月1日付
- 組合員数 32社 / 賛助会員数 20社
 (令和6年7月1日現在)

開催のお知らせ



昨年、4年ぶりに開催しました「あきんど市」。ことしは、10月20日(日)の開催が決まりました。組合員の取引先への感謝の場として開催している「大感謝祭・抽選会」。ことしは、11月14日(木)の開催となります。何れも、詳細につきましては改めてお知らせいたします。

第13回 あきんど市

開催日時 10/20日

大感謝祭

開催日時 11/14木